

農作物技術情報 第5号 野菜

発行日 令和8年7月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ 共 通 換気や遮光等の高温対策とこまめなかん水管理を行いましょう。水分補給と休憩をとり熱中症にならないよう気をつけましょう。
- ◆ 果菜類【施設】 高温対策、草勢維持、病虫害防除を徹底しましょう。
- ◆ 果菜類【露地】 適切な整枝・摘葉と草勢維持、病虫害防除を徹底しましょう。
- ◆ 葉 茎 菜 類 雨よけほうれんそうは、天候の変化に対応した遮光管理と適切なかん水管理・病虫害防除を徹底しましょう。露地葉茎菜類は、適期作業・病虫害防除を徹底しましょう。

1 生育概況

（1）果菜類【施設】

- ・ きゅうりは、半促成や早熟作型が概ね収穫終盤～終了となっています。長期どり作型の生育は概ね平年並みとなっています。病虫害では、褐斑病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類の発生が見られています。
- ・ トマトの生育は、収穫により着果負担が軽減され生育は概ね平年並みですが、日照不足によりやや軟弱徒長の地域が見られています。病虫害では、灰色かび病、アザミウマ類やコナジラミ類、オオタバコガ、トマトキバガが散見されています。
- ・ ピーマンの生育は、概ね平年並みですが、日照不足により主枝の伸長が緩慢な地域が見られます。病虫害では、斑点病、アザミウマ類、アブラムシ類、タバコガ類の発生が見られています。

（2）果菜類【露地】

- ・ きゅうりの生育は、概ね順調ですが、生育初期の影響により一部で果形の乱れなどが見られています。病虫害ではべと病や炭疽病、褐斑病、アザミウマ、タバコガ類等が散見されています。
- ・ ピーマンの生育は、日照不足による影響が見られるものの生育は概ね平年並みとなっています。病虫害では灰色かび病、斑点病、アザミウマ類、タバコガ類の発生が見られているほか、一部地域でウイルス病（CMV）が見られています。

（3）葉茎菜類

- ・ 雨よけほうれんそうの生育は、高温の影響により株がやや細く一部で葉先枯れ等が発生しています。病虫害は、萎凋病等の土壌病害、アブラムシ類、アザミウマ類等が発生しています。
- ・ 高冷地キャベツ・レタスの生育は、乾燥後の降雨により生育が進み複数の作型の収穫期となっています。病虫害は、キャベツはウワバ類、オオタバコガの発生が多く、コナガも発生しています。レタスではすそ枯病の発生が見られています。
- ・ ねぎの生育は概ね順調ですが、一部で葉先枯れ等が発生しています。病虫害ではべと病やネギハモグリバエ、ネギアザミウマの発生が見られます。

2 技術対策

(1) 共通

農作物病虫害発生速報 <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/2012336.html>

- ・ オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が急増しています。
- ・ 早期発見に努め、効果のある薬剤を散布しましょう。
- ・ 詳しくは、令和8年7月30日付け「農作物病虫害発生速報 No 7」を御参照下さい。

(2) 果菜類【施設】の管理

施設では、換気や遮光・遮熱等の高温対策を徹底します。かん水と追肥は少量多回数とし、日射量に合わせて回数を調整します。特に曇雨天後の晴天では、生長点の萎れや障害果の発生につながるため、天候に合わせたこまめな管理を行ってください。また、健全な葉を繁茂させ、葉の蒸散による気化潜熱でハウス内気温の上昇を抑制します。

ア きゅうり

- ・ 長期どり作型では、古い葉を摘葉し側枝から発生する健全葉への切り替えにより、過繁茂による病虫害の発生を防ぎます。
- ・ 抑制作型では、育苗や定植が高温期のため、徒長や日焼け、乾燥対策のための遮光を徹底します。特に生育初期は茎葉の蒸散量が少なくハウス内の気温が高温になりやすいため、遮光に加えて、こまめなかん水を行います。

イ トマト

- ・ 高温や強日射により、生長点の萎れや落花、日焼け果等が発生しやすいことから、高温対策を徹底します。
- ・ 摘葉は、収穫後の花房下の葉を摘み、風通しを良好にします。
- ・ 着果促進のためのホルモン処理は障害果の発生を避けるため、涼しい時間帯に行います。
- ・ 障害果等は早めに除去し、着果負担を軽減します。
- ・ 葉かび病の抵抗性品種でも、葉かび病が発生する場合があります。また、すすかび病が発生するので、定期的に防除を行ってください。なお、萎凋性病害も増加する時期なので、萎れが発生した場合は、最寄りの指導機関に診断を依頼し、原因を特定して対策を講じてください。

ウ ピーマン

- ・ 収穫の終わった枝や内側に伸びた枝により内部が混み合うため、不要な枝は取り除き、内側にも光が当たるようにします。
- ・ 強日射や高温により日焼け果や尻腐果、赤果の発生が多くなるため、遮光・遮熱の実施やハウスの換気効率を高めてハウス内気温の上昇を抑制します。また、通路やマルチ上に敷わらなどを行い、地温の低下を図ります。
- ・ かん水は少量多回数とし、岩手県農業研究センターで公表した試験研究成果を参考に生育や日射量に応じてかん水回数を調整します。また、追肥もかん水に合わせてこまめに行い、草勢維持や尻腐れ果の低減を図ります。

【参考】令和5年度岩手県農業研究センター試験研究成果「雨よけ夏秋ピーマンの尻腐れ果発生を低減できるかん水指標」

https://www.pref.iwate.jp/agri/res/projects/project_agri/page/002/010/223/r05shidou_23.pdf

- ・ 尻腐果はカルシウム不足が原因ですが、かん水不足や窒素やカリウム等の養分過多が発生を助長します。こまめなかん水や生育に合わせた追肥に加え、カルシウム剤の葉面散布を行い被害軽減に努めます。

(3) 果菜類【露地】の管理

8月は収穫最盛期を迎えるため、収穫調製作業に迫われ栽培管理作業が遅れ気味になりがちです。秋の収量を低下させないためにも、各作業に優先順位をつけて、適期に確実に作業を行います。

高温・乾燥による草勢低下を防ぐため、**かん水を行います**。点滴かん水を行う場合は、**少量多回数を基本**とします。また、敷わらを厚くすることで、地温の上昇を抑え、土壌水分を保ちます。古い葉や病葉、不良果は早めに取り除くとともに、収穫遅れを避けて草勢維持に努めます。

ア きゅうり

草勢維持と病害虫のまん延防止が重要な時期です。

- ・ 古い葉や新しい側枝を覆っている**葉の摘除や整枝**を行うとともに、曲がり果や尻太り果などの**摘果や定期的な追肥**を行い、草勢の維持・回復を図ります（写真1）。
- ・ 側枝の発生が鈍い場合や草勢が低下している時は、半放任または放任とします。
- ・ お盆前は褐斑病や炭疽病、お盆以降はそれらに加えてべと病が増加しやすくなるほか害虫の被害もあるので、**病気の葉を積極的に摘葉し、薬剤が十分にかかるように**します。



写真1 整枝管理のイメージ
(混まないように新しい枝葉の発生を促す)

イ ピーマン

- ・ 収穫の終わった枝や、内側に伸びた枝で内部が混み合うため、不要な枝は取り除いて内側にも光が当たるようにします。
- ・ 土壌水分の乾湿の差が大きいと尻腐果の発生を助長するため、**定期的なかん水や敷わら**を行い、土壌水分の安定化を図ります。また、**定期的にカルシウム資材の葉面散布**を行い、被害軽減に努めます。
- ・ **追肥は、かん水と同時に**行い草勢を維持してください。
- ・ **タバコガ類の発生が始まっています**。ほ場の成虫の飛来を確認するなど防除が遅れないよう注意します。
- ・ 斑点病の発生が見られるため、**被害葉を早期に摘除し薬剤散布**を実施してください。また近年、炭疽病の発生が複数の地域で確認されています。本病害は雨滴のはね上がり等で感染・拡大します。一度発生が拡大すると防除が困難になりますので、**被害が出る前から防除**を行います（写真2）。



写真2 ピーマン炭疽病

(4) 葉茎菜類の管理

ア 雨よけほうれんそう

生育適温以上の時期になるため、遮光などによる気温や地温の低下を図る対策の徹底が重要になります。

- ・ は種から発芽初期は70%程度の遮光を行い、その後本葉4枚程度までは30~40%程度の資材に切替えます。その後は天候の変化に応じて**遮光資材を活用**してください。
- ・ は種時のかん水は、生育を揃えるためムラなく十分に行います。
- ・ **生育中のかん水**は、本葉3~4枚以降に開始し、土壌の乾燥状態に応じて、**涼しい時間帯に複数回に分けて**かん水（1回あたり5~10mm（500~1,000L/a））します（写真3）。ただし、トロケの発生を防ぐため、まとまった量のかん水は収穫3~4日前までとします。
- ・ 例年、萎凋病等の土壌病害により減収するほ場では、土壌消毒を実施し、耐病性品種の使用、転炉スラグ施用による土壌pH矯正、適正施肥、残さの適正処理等の総合的な対策を実施してください。
- ・ アブラムシ類、アザミウマ類が発生している場合は、効果の高い薬剤で防除してください。



写真3 生育中のかん水の開始時期（本葉3~4枚）

イ キャベツ・レタス

気温の上昇や降雨に伴い腐敗性の病害や害虫の発生が多い時期になるため、定期的な防除に加え、発生状況に応じた薬剤選定が重要になります。

- ・ 気温の上昇に伴って発生する株腐病（写真4）や軟腐病等の腐敗性病害に効果の高い薬剤を選定し、**株元まで十分に薬液が届くように薬剤散布を行います。**
- ・ 主要害虫が継続して発生する時期のため、定植時から防除を行います。
- ・ キャベツは、コナガやタマナギンウワバが継続して発生するので、圃場をよく観察し、効果の高い薬剤で防除してください。
- ・ レタスは、オオタバコガの発生初期と結球始期からの防除を徹底し、また、8月のヨトウガが発生する時期に同時防除ができるよう、計画的な薬剤の選択をしてください。



写真4 キャベツの株腐病

- ・ 圃場が滞水した場合は、乾燥後に畝間の中耕を行って土壌中に空気を送り、必要に応じて液肥を葉面散布して草勢回復を促します。
- ・ これから収穫する作型では、天候により裂球や生理障害の発生が多くなるので、適期収穫に努め、収穫終了後は病害虫の発生源とならないよう速やかに処分してください。

ウ ねぎ

- ・ 土寄せは、地上部の生育や葉鞘径の肥大を確認しながら行います。過度に早い土寄せは葉鞘径不足となり軟白部が細いねぎとなります。
- ・ 作型や品種によっては、今が最終土寄せを行う時期となります。土入れを丁寧に行い軟白部と葉の色の境が不鮮明な「ボケ」とならないように、**計画的な作業と適期収穫**を行います。
- ・ 軟腐病、黒斑病等の重点防除時期になります。また、葉枯病（黄色斑紋病斑）を同時防除できるよう薬剤を選択し、収穫前日数に注意しながら定期的に防除を実施してください。

エ アスパラガス（立茎栽培）

- ・ 株の消耗や茎葉の過繁茂を防ぐため、ほう芽してくる若茎を収穫し、弱小茎や曲がった茎は刈り取ります。
- ・ 茎枯病、斑点病、アザミウマ類等の発生が懸念されるため、定期防除を行ってください。

オ アスパラガス（伏せ込み促成栽培）

- ・ 8月は根株への**養分転流に向け重要な時期**になるため、肥料分を抑えることや、秋雨時に発生が増加する斑点病の予防が重要な時期になります。
- ・ 伏せ込み用根株養成では、追肥は8月上旬までに終了させます。
- ・ 8月前半は茎枯病、アザミウマ類、気温が低下し降雨が多くなる時期からは斑点病の予防を中心とした防除とします。ただし、近年は残暑が続くことも多いため天候を勘案して防除を行ってください。

ツキノワグマの出没に関する警報

県は、ツキノワグマの出没に関する一層の注意を促し、更なる被害の防止を図るため、県内全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」を発表します。県民の皆さんにはツキノワグマの被害を防止するため、一層の注意をお願いします。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/shizen/yasei/1049881/1043255.html>

- 1 クマに遭遇しないために
 - ・ 事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する。
 - ・ 音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール
- 2 クマを寄せ付けない
 - ・ 食べ残し等、エサになるものを放置しない
 - ・ 農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- 3 出会ったときの行動
 - ・ 背を向けて走って逃げない
 - ・ 目を離さず静かにゆっくり後ずさる
- 4 襲われそうになったら...
 - ・ クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

次号は8月27日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

**6月1日～8月31日は
農薬危害防止運動期間です**

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。